

第43回カラーコーディネーター検定試験1級第1分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第1分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	60	6.7	7.6	4.4	6.6	7.1	2.6	7.2	3.5	5.6	8.8

設問	設問	解答
1-1	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	3
	オ	4
1-2	ア	3
	イ	4
	ウ	3
	エ	2
	オ	2
2-1	ア	4
	イ	3
	ウ	2
	エ	2
	オ	1
2-2	ア	3
	イ	1
	ウ	1
	エ	3
	オ	2
3	ア	2
	イ	1
	ウ	4
	エ	1
	オ	3
4-1	ア	2
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	4
4-2	ア	4
	イ	3
	ウ	1
	エ	4
	オ	1

設問	設問	解答
5-1	ア	4
	イ	1
	ウ	2
	エ	3
	オ	3
5-2	ア	3
	イ	4
	ウ	2
	エ	3
	オ	1
6	ア	3
	イ	2
	ウ	4
	エ	3
	オ	2
7-1	ア	2
	イ	4
	ウ	1
	エ	2
	オ	2
7-2	ア	5
	イ	2
	ウ	13
	エ	12
	オ	8
8	ア	4
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	1

第43回カラーコーディネーター検定試験1級第2分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第2分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	66.5	8.1	7.8	3.1	6.5	5.8	4.5	8.1	3.5	6.1	13.1

設問	設問	解答
1-1	ア	2
	イ	8
	ウ	1
	エ	4
	オ	13
1-2	ア	14
	イ	12
	ウ	13
	エ	2
	オ	4
2-1	ア	11
	イ	4
	ウ	14
	エ	12
	オ	5
2-2	ア	6
	イ	8
	ウ	13
	エ	4
	オ	11
3	ア	4
	イ	9
	ウ	8
	エ	12
	オ	13
4-1	ア	13
	イ	7
	ウ	11
	エ	3
	オ	6
4-2	ア	4
	イ	1
	ウ	3
	エ	2
	オ	4

設問	設問	解答
5-1	ア	13
	イ	4
	ウ	7
	エ	6
	オ	15
5-2	ア	8
	イ	5
	ウ	13
	エ	6
	オ	9
6	ア	2
	イ	1
	ウ	4
	エ	2
	オ	1
7-1	ア	6
	イ	8
	ウ	14
	エ	10
	オ	9
7-2	ア	11
	イ	7
	ウ	3
	エ	10
	オ	12
8	ア	4
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	1

第43回カラーコーディネーター検定試験1級第3分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第3分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	59.9	6.8	4.8	3.8	6.4	6	3.2	6.1	3.4	5.9	13.6

設問	設問	解答
1-1	ア	4
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	4
1-2	ア	4
	イ	1
	ウ	5
	エ	3
	オ	2
2-1	ア	8
	イ	15
	ウ	4
	エ	3
	オ	11
2-2	ア	9
	イ	2
	ウ	4
	エ	10
	オ	5
3	ア	1
	イ	4
	ウ	1
	エ	2
	オ	3
4-1	ア	3
	イ	2
	ウ	2
	エ	2
	オ	4
4-2	ア	2
	イ	5
	ウ	1
	エ	13
	オ	9

設問	設問	解答
5-1	ア	3
	イ	4
	ウ	1
	エ	2
	オ	3
5-2	ア	9
	イ	3
	ウ	7
	エ	13
	オ	5
6	※ア	2
	※イ	4
	※ウ	7
	※エ	9
	※オ	14
7-1	ア	1
	イ	2
	ウ	3
	エ	4
	オ	1
7-2	ア	8
	イ	1
	ウ	3
	エ	13
	オ	11
8	ア	4
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	1

※6は順不同です。

第43回カラーコーディネーター検定試験1級

【第9問】1級（第1分野～第3分野）共通論述問題採点基準

【問題】（200文字以内）

「色の三属性」を説明し、さらに、「色の三属性が表す心理的効果」の一つを例を挙げて説明しなさい。

【模範解答例】

マンセル表色系の色相、明度、彩度を色の三属性と言う。色相は赤、黄、緑、青、紫の基本色相と中間色相の10色相で構成される。明度は理想的な白と黒の間を知覚的に等間隔になるように10分割された明るさを表す。彩度は同じ明度の無彩色のからの隔たりの程度であり、鮮やかさを表す。三属性が表す心理的効果の例は、色相が色の寒・暖感を表し、色相環上の赤・オレンジ・黄が暖かく、青・青紫が寒く感じる。

【評価のポイント】

- ①マンセル表色系が書かれてあれば1点。
- ②色相、明度、彩度が書かれてあれば各1点。
- ③色相、明度、彩度の説明が正しければ各1点。
- ④心理効果の例として色相が寒暖感を表すことが正しく（青系統が寒、赤系統が暖）書かれてあれば3点。
- ⑤明度が軽・重感を表すことが正しく（暗い色が重く、明るい色が軽い）書かれてあれば3点。
- ⑥派手・地味感が彩度を表すことが正しく（彩度が高い色が派手で、低い色が地味）書かれてあれば3点。
- ⑦色相の効果で赤い色が進出、青い色が後退して見えるが正しく書かれてあれば3点。
- ⑧明度の効果で明るい色は膨張・暗い色は収縮して見えるが正しく書かれてあれば3点。
心理効果は1つ挙げて正しく書かれてあれば加点するが、二つ以上挙げて正しく書かれていても加点しない。心理効果の説明が不十分であれば、その程度で1か2点とする。
基本的には正しいと加点するが、間違っていないでも加点しないで、減点はしない。

【第10問】 1級（第1分野） 論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

ファッションビジネスにおけるカラー関連機関と色彩情報に関する下記の（1）～（3）の各項目について説明し、更にそれらの情報のカラーコーディネーター業務への活用について、合計500字以内で述べなさい。

- （1）代表的な国際および国内色彩関連団体・組織について
- （2）代表的な国内外の素材展示会について
- （3）代表的な国内外のファッションコレクションについて

【模範解答例】

（1）代表的な国際組織として、INTERCOLORがあり、世界で最も早く、実需の2年前にカラーパレットを発表する。国内では日本流行色協会が実需の概ね18ヶ月前に、イメージと色彩からなるカラーパレットを発表する。

（2）代表的な国外のテキスタイル展示会としてプルミエール・ヴィジョンがあり、パリで年2回開催され、業界最大規模を誇る。国内ではジャパン・クリエーションが代表的である。また、テキスタイルより早い時期にヤーンの展示会が開催され、ピッティ・インマージネ・フィラティとエキスポフィルが代表的である。素材展示会は実需の概ね1年前に開催されることが多く、素材と色彩のトレンドをつかむことができる。

（3）代表的なコレクションとして、ニューヨーク、ロンドン、ミラノ、パリ、東京などがあり、実市場の商品が展開される概ね半年前に年2回開催され、スタイル、カラー、素材傾向がこの時期でほぼ確定する。

カラーコーディネーターは、以上のような各種カラー情報を収集、分析することで、当該シーズンの傾向の予測を行う。また、それを基に、シーズンコンセプトを設定、市場動向や自らの創造性を加味しながら色彩計画を進めていく。

（498文字）

【評価のポイント】

代表的な色彩関連団体・組織、素材展示会、ファッションコレクションについて、その名称、特徴、情報提供時期、提供形態について正しく説明されていること、また、これらの情報をカラーコーディネーターがどのように活用するのか？が簡潔に説明されていることが評価のポイントである。以下に配点と重点加点項目を示す。

本問題は、テキスト第8章 第1～3節から出題されており、過去にマークシート問題でもよく取り上げられていることから、テキストの当該部分を理解していれば解答できる問題である。

(1) 代表的な国際および国内色彩関連団体・組織について ……小計6点

<重点加点項目>

I N T E R C O L O R (インターカラー、国際流行色委員会)、日本流行色協会 (J A F C A) 等の組織名称、特徴、情報提供時期、提供形態の記載

※日本色彩研究所やC A U S 等他の組織に関する記載も正しく解答できていれば、加点対象とした。

(2) 代表的な国内外の素材展示会について ……小計6点

<重点加点項目>

プルミエール・ヴィジョン (P r e m i e r e V i s i o n)、ジャパン・クリエーション (J F W J a p a n C r e a t i o n)、ピッティ・インマージネ・フィラティ、エキスポフィル等の展示会名称、特徴、情報提供時期、提供形態、テキスタイルとヤーン両タイプに対する記載

※京都スコープ (K y o t o S c o p e)、ミラノ・ユニカ (M i l a n o U n i c a) 等に関する記載も正しく解答できていれば、加点対象とした。

(3) 代表的な国内外のファッションコレクションについて ……小計6点

<重点加点項目>

ニューヨーク、ロンドン、ミラノ、パリ、東京の開催都市名称、特徴、情報提供時期、提供形態の記載

※リアルクローズを対象としたショーに関する記載も正しく解答できていれば、加点対象とした。

(4) 情報のカラーコーディネーター業務への活用について ……小計4点

全体構成 ……小計3点

<重点加点項目>

情報の収集、分析により傾向を予測すること、シーズンコンセプトの設定、自らの創造性を

加味すること等の記載、文章全体としてのまとまりや論旨の一貫性を総合的に評価。

※テキストに記載がない内容であっても、正しく、論理性がある記載に関しては加点を行った。

ただし、誤った記載や個人の主観的な意見、感想に対しては加点を行わなかった。

【第10問】 1級（第2分野）論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

日本の各地から選んだ工芸品を販売する店舗を作ることになった。カラーや素材感を魅力的に見せるために、どんなことに留意すると良いか、店舗空間の色彩計画、照明・ディスプレイの技術、展示における色彩の機能的側面などの観点から論じなさい。

【評価のポイント】

1. インテリア「店舗空間」色彩計画の部分を中心に、マーチャンダイジング・プレゼンテーションについて理解しているか。
2. 第4章第7節 照明・ディスプレイ技術の店舗照明（売り場照明）について理解しているか。
3. 第5章第7節 色彩の機能とパッケージの事例（誘目性、識別性、現実性、連想性、流行性、嗜好性など）を理解しているか。

評価①日本の工芸品を販売すること

課題の「日本の工芸品を販売する店舗のカラーと素材を魅力的に見せること」にフォーカスしていること。一般論の店舗色彩計画になっていないこと。

評価②店舗空間の色彩計画について留意していること

「日本の各地から選んだ工芸品を販売する」という目的、また何らかの目標を明確にしたコンセプトを構築し、店の方針、ストア・アイデンティティを確認し、時代に対応させる。誰に、何を、どのように、提供するののかという戦略方針を明確にする。商品をサービスとの組み合わせによって顧客の欲求を満足させる。全体色調をどうするか、配色のバランスは、アクセントカラーは、等々。素材は「天然素材」などの抽象的表現よりも、色や質感を想起させる材料の提示がのぞましい。

（主としてテキストの 281 頁から 284 頁）

評価③照明・ディスプレイを効果的に使うこと

この店舗の性格や目的に合った照明を選びながら論述していること。アンビエントライティングとタスクライティング、忠実照明とディスプレイ照明、ベース照明、重点照明、装飾照明の使い分けをどう設定するか。光源の種類、演色性（忠実演色か効果演色か）、質感表現のためのライティング手法、壁面の照明など。

（主としてテキストの 168 頁から 177 頁）

評価④展示における色彩の機能的側面の配慮

「展示における色彩の機能的側面」は、誘目性、識別性、現実性、連想性、流行性、嗜好性、審美性、固有性。ただし、論述のストーリーによっては、不要な場合もある。

(主としてテキストの 316 頁から 320 頁。)

評価⑤論述者独自の視点

「論述者独自の視点」は、一級カラーコーディネーターとしての独自の視点があるか。主張に一貫性があるか。幅広い視点でとらえることができるか。という点。

【第10問】 1級（第3分野）論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

フランスのカラリスト、ジャン・フィリップ・ランクロは世界中の伝統的なまちなみの調査を行い、「色彩の地理学」を提唱したが、この考え方は日本の環境色彩計画にどのように応用できるのか、あなたの考え方を述べなさい。

【評価のポイント】

記述には「色彩地理学」に関する下記のような内容が含まれ、その上で「色彩の地理学」の応用について、各自の考え方がバランスよくまとまっていることが重要である。

評価① “色彩の地理学”とはどのようなものか。

実際の建築物の外装と建築色票を照合し、その色彩を読み取るという作業を行ない、地域毎にカラーパレットと呼ばれる色票集にまとめて地域の色彩特性を明らかにすることである。

評価② “色彩の地理学”が色彩計画に与えた影響。

色彩の地理学は、地域の特徴的な色彩の保全の必要性を訴えた。

またフランスでは“色彩の地理学”の研究・発表によって、まち並みの色彩はまち並み再生の中で取り上げられ、地域の色彩基準も整備されていった。

評価③ “色彩の地理学”が日本に与えた影響と展開。

“色彩の地理学”は日本でも紹介され、歴史的な雰囲気を残す景観形成地区等の指定の際に、地域色を調査によって明らかにし、その色彩を継承していくことが試行された。

また日本の都市部においても欧米の景観を単順に模倣することではなく、それぞれの地域色を把握し、色彩的な特徴を育てていくことが、環境色彩計画の基本となった。

以上